

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	技能褒賞運営事業	会計	一般会計	事業No.	363	施策順No.	12-001
		事業種別	政策・重点	予算科目	5-1-1-10-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	産業振興支援課		
施策	12 人材育成と企業、人材誘導			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	飯田市に居住する勤労者					A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない						
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)						19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市の勤労者数(H17国勢調査報告):人									51727	51727	
	意図	地域の伝統技術を継承し、後継者の育成、地域産業の技術の向上を図る。											
対象をどう変えるか	意図	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)					19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		技能勤労者褒賞者数:15人(褒章受賞者累計:745人)								25	15	25	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	褒賞者数は、例年20~22人であったが、22年度は15人に減少した。21年度20回の節目の年であったため、30人の表彰をしたことにより、22年度の推薦が減少したと思われる。												

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	永く同一職業に従事し、技能の向上や後継者育成等に尽力した者を褒賞することで、伝統技術の継承、地域産業の振興を図る。また、伝統産業から最先端技術など幅広い分野で活躍する者を対象とした褒賞を行う。ものづくりの大切さの認識、地域産業振興につなげる。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 飯田市技能勤労者褒賞運営事業 永く同一職業に従事し、技能の向上や後継者育成等に尽力した者を褒賞 2 技能五輪全国大会出場激励金の交付 若い技術者で技能・技術を磨き、全国規模の大会に出場した技術者に、大会出場に伴う激励金を交付	1 技能勤労者褒賞者数 2 技能五輪全国大会出場激励金交付者数	15人 4人
23年度実施計画	1飯田市技能勤労者褒賞運営事業 永く同一職業に従事し、技能の向上や後継者育成等に尽力した者を褒賞する。 2技能者・技術者等表彰事業 全国規模の大会に出場し、優秀な成績を取めた技術者に対して表彰を行う。 3技能五輪全国大会等出場激励金の交付 若い技術者で技能・技術を磨き、全国規模の大会に出場した技術者に、大会出場に伴う激励金を交付する。 技能五輪全国大会出場選手など	1技能勤労者褒賞者数 2表彰者数 3大会等出場激励金交付者数	

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		500	340	470		
計(A)		500	340	470		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			0			
トータルコスト A+B			340			

4 事業に対する市民や議会の意見

技能勤労者褒賞では、もう少し若い世代の人も対象としてよいのではないか。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	地域内の従業員、地域内の企業、人材 ①事業活動を改善する ②企業立地、起業、就職できる	施策の成果指標又はムトス指標
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	褒賞を受けられた方々が、自分の持つ技能・技術を後継者に伝え指導し、後継者の育成につながっている。	
	後期に向けた課題	現役や若い年代で技能・技術のある技術者の表彰を検討する。	
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	技能褒賞候補者を、幅広い団体に呼びかけて推薦していただく。審査委員会による、褒賞者・表彰該当者、推薦方法などについての意見をいただく。	
	後期に向けた課題	現役や若い年代で技能・技術のある技術者の表彰を検討する。	
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	各種関係団体への推薦依頼、実行委員・審査委員の委嘱による審査の委嘱など。	
	後期に向けた課題	現役や若い年代で技能・技術のある技術者の表彰を行う中でのコストの増加。	
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市長からの褒賞や表彰のため、市の実施する。各種関係団体等への推薦依頼、実行委員・審査委員に審査を委嘱する。	
	後期に向けた課題	現役や若い年代で技能・技術のある技術者の表彰を行う場合の該当者の選定、審査の方法。	
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	① 褒賞受賞技術者	
	後期に向けた課題	伝統技術の継承、後継者育成などの促進を図るために行政と民間の連携を進める。	
全体を通じて	4年間の振り返り	褒賞を受けられた方々が、自分の持つ技能・技術を後継者に伝え指導し、後継者の育成につながっている。	
	後期に向けた課題	現役や若い年代で技能・技術のある技術者の表彰を検討する。	

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------